

Q. 連携できる団体を知りたい。

A. 日本の伝統・文化理解教育、キャリア教育、食育、環境教育、安全教育等の学習で連携できる「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」に登録している団体をいくつか御紹介します。詳しくは「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会 HP」を御覧ください。

<団体名> 社団法人 日本芸能実演家団体協議会

<プログラム> 「実演家と教師による和楽器モデル授業出前教室」

<団体紹介> 俳優、歌手、演奏家、舞踊家、演芸家、演出家、舞台監督をはじめとする実演家等の団体で構成する民間の公益法人で、略称を芸団協といいます。芸術文化の発展に寄与することを目的に1965年に設立されました。学校教育にかかわる事業として、日本財団の助成を得て、主に能楽、長唄、三曲のジャンルの実演家の協力のもと、中学校での和楽器を活用した音楽の授業への支援を行っています。その際に、コーディネーターを介して、教員と実演家とがそれぞれの専門力を活かしながら「学び合う」関係がつかれるよう、事前・事後指導まで含めて、全体のプランニングや流れを組み立て、授業を展開しています。そのための教員向け実技研修会等も行っています。また今年度から都教委の委託を受けて、小学校や高校でも「出前授業」を行っています。

<実践事例> 千代田区麹町小学校の例

6年生の音楽の授業の一環で、能楽師の方を招き、能楽の学習を行いました。あいさつから始まり、能楽の動き方や能面の説明とともに、実際に足袋を履いて歩き方を練習したり泣き方などの動きをしてみたり、扇子を刀に見立てた動きをしたりするなどの体験もしました。子どもたちは真剣に取り組み、2時間の授業でしたが、動きもどんどん上達しました。



あいさつから始まり、あいさつで終わる（上）
扇子の開き方（左）や歩き方・動き方（右）を学ぶ

<連絡先> 社団法人 日本芸能実演家団体協議会

TEL 芸能文化振興部 03-5909-3060 E-mail dento-kyoiku@geidankyo.or.jp

URL <http://www.geidankyo.or.jp>